



コロナ禍を乗り越えて!

宿泊行事の大切さ ～『自立する力』と『生活力』～

コロナ禍のために実施することができていなかった宿泊行事が、感染症対策を徹底する中でやっと実現することができるようになりました。4年生は10/6(木)～7(金)に倉敷市自然の家で「山の学習」へ、6年生は10/19(水)～20(木)に京都・奈良・大阪方面に「修学旅行」で、それぞれ1泊2日で宿泊します。どちらも子どもたちにとっては、大きな思い出となるとともに、大変有意義な体験を得ることとなるでしょう。

親元を離れた子どもたちの様子を寝食共にして観ると、ひとり一人のことがよく分かります。普段、学校で観る様子と同じとうなずけること、あるいは、こんな一面があったのかと意外な驚きや喜びを感じるなどです。いずれにしても、観る尺度の柱は、「自立する力」と表裏の関係にある「生活力」です。「部屋や自分の荷物の整理をきちんとできること」などはこの例になります。子どもたちは、宿泊行事の中でできなかったことができるようになったり、気付かなかったことに気付いたりするようになります。もちろん、こうしたことが元々できている子どもは自分の行動にもっと自信をもつようになります。ただ、子どもの変容はまだ確かなものではありません。宿泊行事の中で、そのきっかけをつかんだ程度のもので、まだ定着しているとは言えません。宿泊行事で培われていく生活力は、当然、自立を支える大きな力となります。その宿泊行事の中で「子どもはこんなに成長し、しっかりしたのに、ここで終わるのはもったいない。」と感じることもあります。「自分ができることをしっかりやる。自分がやらなければならないことを確実に行う。」を学校と家庭の合言葉に、ご家庭と共に子どもたちの成長を見守り、指導・支援を重ねてまいります。

校長 藤井 朗

4年 『自然』の中で学んだ「山の学習」!

始めの式



「ウォークラリー」ゴールのポーズ



協力して食事の準備



盛り上がった「キャンプファイヤー」



暗夜行路

4年生3クラスが倉敷市自然の家で『山の学習』に行ってきました。「ウォークラリー」「キャンプファイヤー」「暗夜行路」の3つの体験活動の中で、山の生活信条「規律」「友情」「奉仕」を学ぶことができました。そして、空調完備の快適な真新しい宿泊施設の共同生活で「生活力」を磨いてきました。



「雨にも負けず!」泥まみれでゴールしたぞお!